

目 次

はしがき	i
略語表	vii
序章 2005年の東アジア	1
1 東アジアの不安定要因	2
2 米国の東アジア政策	5
3 国際協力と日本の安全保障	7
第1章 米軍再編と東アジアの安全保障	11
1 米軍再編の背景	13
(1) 戦略の転換——脅威ベースアプローチから能力ベースアプローチへ	13
(2) トランスフォーメーションと兵力配備の見直し	15
(3) 米国内での基地再編・閉鎖計画	17
2 アジア太平洋駐留米軍に起こりつつある変化	19
(1) 「抑止」と「緊急展開」が求められるアジア太平洋地域	19
(2) アジア太平洋駐留米軍の6つの変化	21
(3) 北東アジアの米軍プレゼンスの変貌	23
(4) 北東アジアにおける米国の軍事プレゼンスの今後	25
3 在日米軍の再編	27
(1) SACOから米軍再編へ	27
(2) 3段階のアプローチ——共通戦略目標、役割任務能力、基地再編	29
(3) 「日米同盟：未来のための変革と再編」——抑止力の維持と地元負担の軽減	31
(4) 今後の課題	34
第2章 スマトラ沖大地震・津波をめぐる国際協力と安全保障	35
1 地震・津波の被害と緊急救援活動	37
(1) 災害の発生と被害状況	37
(2) 地球規模の緊急救援活動	38

2	アジア太平洋の国際関係への影響	43
	(1) 高まった米国の評価	43
	(2) その他の支援国の評価	45
3	災害救援における国際協力の課題と対応	48
	(1) 軍による災害救援活動とその調整	48
	(2) 被災国による制約と救援活動	51
	(3) 滞る復興再建活動	54
	(4) 非伝統的安全保障問題への地域的取り組み——東南アジアの例	56
第3章 朝鮮半島——対米中関係の模索		59
1	北朝鮮のWMD開発と東アジア	61
	(1) 北朝鮮のWMD——核に限定されない脅威	61
	(2) WMD問題における日朝、米朝国交正常化の意義	65
	(3) 中国と韓国の役割	68
2	同盟関係とバランス論——東アジア政策を模索する韓国	71
	(1) 米韓同盟の再定義に対する躊躇——北東アジアバランス論	71
	(2) 韓国の対中関係——米韓同盟とのバランスと潜在する紛争	76
	(3) 韓国の対日関係	78
3	南北朝鮮の通常戦力の動向	82
	(1) 韓国——三軍の均衡発展と防衛産業の強化	82
	(2) 北朝鮮	87
第4章 中国——「周辺外交」の成果と課題		91
1	二律背反する中国の対日政策	93
	(1) 「周辺外交」の重点化と日本	93
	(2) 反日デモの連鎖的発生	95
	(3) 対日関係をめぐる中国政治	98
2	中国の対台湾政策	104
	(1) 「反国家分裂法」の制定	104
	(2) 台湾問題の「国際問題」化	109
3	中国の軍事動向	114
	(1) 台湾海峡をめぐる軍事バランス	114
	(2) 向上する中国の核・ミサイル戦力	119

第5章 東南アジア——良好な大国関係の模索	123
1 分離・独立運動とテロの脅威	125
(1) アチェ和平の成立	125
(2) 再発したバリ島の爆破テロ	128
(3) 深刻化するタイ深南部の騒乱	131
2 域内の統合への動き	135
(1) 国境を越える犯罪への対応	135
(2) ASEANの統合と東アジア協力	138
3 東アジア・サミットと大国関係	142
(1) 機能別協力体としての東アジア共同体	142
(2) 米国の動きと中国への牽制	145
(3) 積極的な協力関係を進める中国	148
4 国防支出と装備調達	151
(1) 拡大する国防支出	151
(2) 米国の巻き返し	152
第6章 ロシア——緊密化する中露関係	157
1 第2期プーチン政権の試練	159
(1) ロシアの民主化後退と揺らぐ米露関係	159
(2) ロシアの求心力低下と上海協力機構(SCO)の重視	161
(3) チェチェン武装勢力によるテロ	165
2 東アジア政策の新展開	168
(1) 東アジアにおいて始動する資源外交	168
(2) 史上初の中露共同軍事演習	171
(3) 5年ぶりのプーチン大統領の訪日	174
3 「国家安全保障概念」の改訂と軍の近代化	179
(1) 「国家安全保障概念」の改訂プロセス	179
(2) 加速するロシア軍の近代化	182
(3) 緊密化する中国、インドとの軍事協力	186
第7章 米国——第2期ブッシュ政権の課題	191
1 第2期ブッシュ政権の国防政策	193
(1) 新政権の特質と陣容	193
(2) 国防政策の動向	196

2 「自由の拡大」路線の継続	203
(1) 対テロ戦略の展開と将来の展望	203
(2) イラク戦略の展開と課題	205
3 米国と東アジア	210
(1) 米中関係の新たな展開	210
(2) 北朝鮮の核問題への対応	214

第8章 日本——より充実した国際協力を目指して 217

1 新大綱と国際社会との協力	219
(1) 95年大綱当時からの変化	219
(2) 新大綱の目指すもの——「多機能・弾力的・実効性」と3つのアプローチ	220
(3) 2005年の自衛隊の国際協力	221
2 国際社会との協力を通じた安全保障	225
(1) 「3つのアプローチ」における「国際社会との協力」	225
(2) 国際平和協力活動	227
(3) 安全保障対話・防衛交流	230
3 より充実した国際協力を目指して	232
(1) 法制度——本来任務化と一般法	232
(2) 高度な即応性を持つ防衛態勢の構築	235
(3) 装備——「多機能・弾力的・実効性」防衛力を目指して	236
4 今後に向けて	238

解説

パキスタン等大地震	58
在韓米軍の今後——米陸軍再編における位置付けと戦略的柔軟性	75
「戦略対話」を模索する中国	103
「インドネシア共和国政府と自由アチェ運動との間の了解覚書」概要	127
地域安全保障機構としての存在感を高める上海協力機構 (SCO)	164

資料

第4回六者会合に関する共同声明 (仮訳)	66
----------------------	----